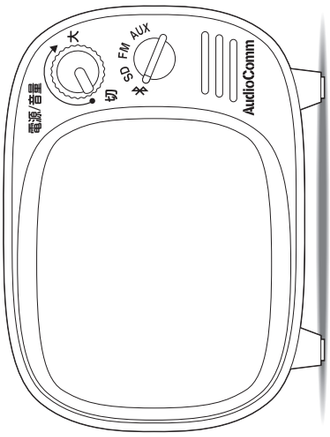
AudioComm®

保証書付 取扱説明書

Bluetoothスピーカー

型番：ASP-W900Z-R/A/WK
品番：03-0395/0396/0397



このたびは、AudioComm® Bluetoothスピーカーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	Bluetoothスピーカー			★お買い上げ日：　　年　　月　　日
型　番	ASP-W900Z-R ASP-W900Z-A ASP-W900Z-WK	品　番	03-0395 03-0396 03-0397	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	★お名前　　様			
	★ご住所　〒　　ー 電話　　(　　)			
修理メモ				
販売店	★住所　店名　電話 ㊞			

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
https://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室 へ
●通話料無料　0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは　048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　修理ご相談センター へ
電話受付　048-992-3970 平日 9：00～17：00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

目 次

免責事項…… 1
安全上のご注意 …… 2～4
充電式電池について ……4
Bluetooth無線技術について …… 5～6
各部の名称……7
充電のしかた ……8
Bluetoothで音楽を聴く …… 9～11
microSDカード内のファイルを再生する …… 12～13
ラジオを聴く …… 14
外部機器と有線接続して使う …… 15
故障かなと思ったら …… 16～17
お手入れのしかた …… 17
主な仕様…… 18～19
保証書とアフターサービスについて …… 19
保証書…… 裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
●本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
●本製品のために費やした時間及び経費
●本製品を運用した結果もたらされた損害
●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 左図の場合は「感電注意」が描かれています。
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠ 危険

接触禁止

充電式電池（リチウムポリマー電池）が液もれしたときは、素手で触らない

●本機には充電式電池（リチウムポリマー電池）が内蔵されています。万一、液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
●万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
●液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

22cm以上離す

心臓ペースメーカーを使っているときは装着部位から22cm以上離す
●電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

使用を中止する

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する
●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

万一、内部に異物や水などが入った場合は、すぐに使用を中止する
●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

接触禁止

雷が鳴り始めたら、安全のため本機及びUSB充電コードに触れない
●落雷や感電のおそれがあります。

水かけ禁止

本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使わない。
●感電や故障の原因となります。

禁止

本機を分解、修理、改造しない
●火災・感電の原因となります。

禁止

航空機内や医療機器の近くで使わない
●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。

付属のUSB充電コード以外では充電しない
●火災や感電、機器の故障の原因となります。

火の中に入れない。加熱しない
●本機にはリチウムポリマー電池が内蔵されており、誤って火中に入れると、発熱、破裂、発火の原因になります。

自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない
●高温になると、危険を防止するためリチウムポリマー電池が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。

本機やUSB充電コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない
●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

USB充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
●コードが破損して火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

音量は小さく

長時間、大音量で聴き続けない
●聴力障害などの原因となることがあります。

使用を中止する

本機を使用中に気分が悪くなったときは、ただちに使用を中止する
●使用中止後、症状が改善されないときは医師の診察を受けてください。

禁止

暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない
●破損・故障の原因となります。

振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない
●落下してけがをする可能性があります。また、本機の破損・故障の原因となります。

本機をシンナーやベンジンなどで拭かない
●変形・変色の原因となります。

禁止

USB充電コードを熱器具に近づけない
●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

自動制御機器（自動ドアや火災報知器など）の近くで使わない
●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。

USB充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない
●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●必ずプラグ部を持って抜いてください。

日本国以外では使用しない
●本機は日本国内専用です。
●日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。
●海外では国によって電波使用制限が異なるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

充電式電池について

●充電式電池（リチウムポリマー電池：本機に内蔵）には寿命があり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。また、電池の交換はできません。
●充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

Bluetooth無線技術について

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、本機の場合、近距離(最大約10m以内)であれば、どこにいても無線通信により音楽や通話を楽しむことができます。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

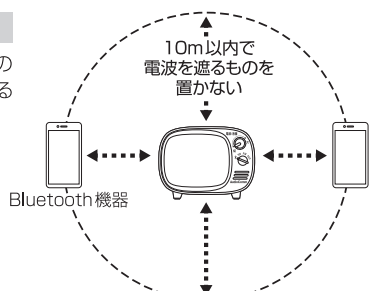
Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本機は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本機のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

【対応バージョン】　Bluetooth標準規格 Ver.4.2
【対応プロファイル】　・A2DP　・AVRCP

※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。
※本機はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

通信可能範囲について

本機の通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。



セキュリティーについて

本機はBluetooth通信時のセキュリティーとして、標準規格に準拠したセキュリティー機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本機の機器認定について

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼ってある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。　**本製品は日本国内でのみ使用できます。**

使用周波数と注意事項

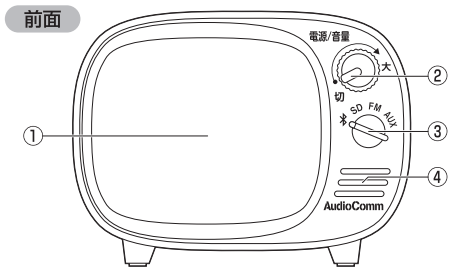
本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

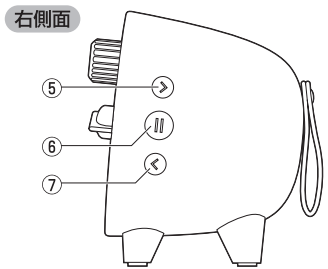
1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室(裏表紙)までお問い合わせください。

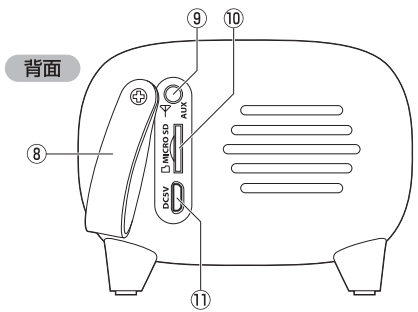
医療機器の近くで使用する際は、特に注意してください

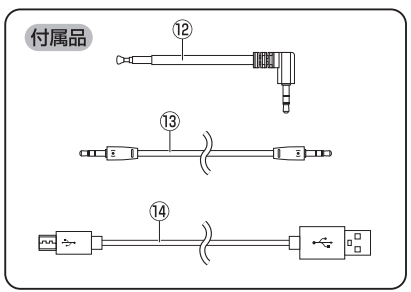
●病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
●医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
●混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
●医療機関内では次のことを守ってください。
　・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
　・病棟内では本機を使わない。
　・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
　・その他、医療機関による使用制限・使用禁止指示は必ず守る。
●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

各部の名称









①スピーカー
②電源／音量ツマミ
③ファンクション切換ツマミ
④インジケーター(内蔵)
⑤スキップボタン(>)
⑥再生／一時停止ボタン
⑦スキップボタン(<)
⑧ストラップ
⑨AUX(外部音声)入力端子
※着脱式FMロッドアンテナ接続端子を兼用
⑩microSDカードスロット
⑪充電用USBポート
⑫着脱式FMロッドアンテナ
⑬φ3.5mm外部音声入力用コード
⑭USB充電コード

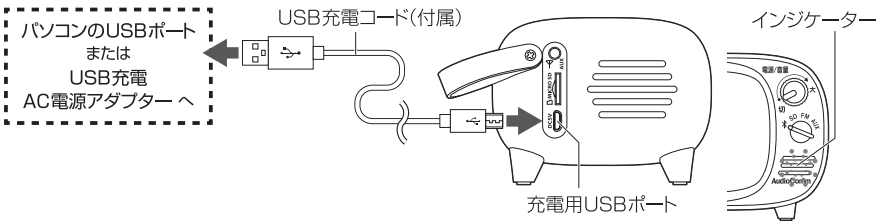
充電のしかた

充電用USBポート(microUSB端子)とパソコンのUSBポートをUSB充電コード(付属)で接続します。充電が始まるとインジケーター(赤)が点灯し、フル充電になると消灯します。

※必ず付属のUSB充電コードをご使用ください。また、付属のUSB充電コードは他の製品には使用しないでください。

※家庭用コンセントで充電する場合は、USB充電コードのUSB端子をUSB充電AC電源アダプター(別売)に接続して行なってください。

※初めてお使いになるときは、十分に充電してください。



ヒントとご注意

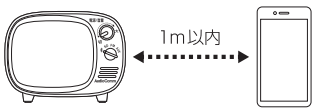
- **パソコン側のUSBポートについて**／本機を充電するにはDC5V　500mAの電力が供給できるUSBポートに接続する必要があります。その際は、付属のUSB充電コードを使い、本機とパソコンを直接つないでください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。
- **パソコンの省電力モードについて**／接続中にパソコンが省電力モードになると正しく充電されませんのでご注意ください(省電力モードになったときは、本機のインジケーターも消灯します)。
- **充電時間の目安**／残量ゼロからフル充電までは約2時間かかります。十分に充電したにも関わらず、持続時間が半分程度になった場合は充電式電池の寿命と考えられます。
- **充電時の異常表示**／動作保証温度(0℃～40℃)を超える環境下での充電や、充電式電池に問題が起きた場合、充電が完了していなくてもインジケーターが消灯することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合はお買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- **電池残量が少なくなると**／残量不足を知らせる音声が流れますので、早めに充電してください。そのままの状態が続くとしばらくして電源が切れます。
- **長期間使わなかったときは**／充電式電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも、月に1回充電し直すことをおすすめします。

Bluetoothで音楽を聴く

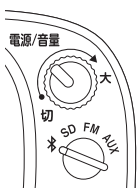
ペアリングのしかた

ペアリングとは、Bluetooth機器(携帯電話やBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなどの音源側の機器)に本機を登録し、通信を確立する操作のことです。**初めて使うときは必ずペアリングを行なってください。**
多くの機器の場合、一度登録するとそれ以降は自動で接続されます。機種によってその都度接続操作が必要な場合は、本機との接続を確立した後、音楽などの再生をお楽しみください。

1 本機の電源が切れていることを確認し、手元に本機とBluetooth機器を用意します。
●両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。
●Bluetooth機器の電源は入っている状態にしてください。



2 本機のファンクション切換ツマミを「✱」に合わせた後、電源／音量ツマミを時計まわりに回して電源を入れます。
●「カチッ」と音がして電源が入り、「Bluetooth機器と接続してください」の音声が流れて、インジケーター(白)が点滅します。



3 Bluetooth機器側で本機を登録してください。

Bluetooth の設定画面を開く

iPhone	[設定]→[Bluetooth]
Android	[設定]→[その他の設定]→[Bluetooth] [設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth 設定]
NTT docomo	[アプリ]→[設定]→[Bluetooth]
SoftBank	[設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク」→[Bluetooth]
au	[設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク」→[Bluetooth 設定]
Windows Mobile	[設定]→[接続]→[Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

お使いのBluetooth機器側で本機の名称 ASP-W900Z が表示されたら、それを選択して登録します。
パスキーやPINコードを求められた場合は 0000 と入力してください。

本機との接続が完了すると…

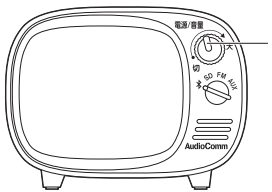
接続が完了すると、「接続できました」という音声が流れ、インジケーター(白)の点滅が点灯に変わります。続いて再生などの操作を行なってください(機器によっては自動で再生が始まる場合もあります)。

ヒントとご注意

●対応プロファイル：
本機はBluetooth標準規格 Ver.4.2(プロファイル：A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択をする必要がある機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。それ以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。
●お使いのBluetooth機器が他の周辺機器とBluetooth通信を行なっているときは、本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との接続を解除したうえで本機とのペアリングを行なってください。
●2回目以降に接続するときは、ペアリング済みBluetooth機器の電源が入っている状態(Bluetooth機能も有効)で、本機の電源を入れ、ファンクション切換ツマミを「✱」に合わせると自動的に接続されます。
●本機と同時に接続できるのは、1つのBluetooth機器のみです。複数の機器があり、同時にBluetooth機能をオンにすると、最後に接続していた機器にペアリングされます(機種により異なる場合があります)。
●一度登録後、ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは、Bluetooth機器側で本機の登録を削除したうえで、最初からペアリングし直してください。
●Bluetooth機器のBluetooth機能がオフになっている場合は、本機の電源が入っている状態でも自動接続されません。Bluetooth機器側をオンにしたうえで、本機のファンクション切換ツマミを「✱」に合わせると接続されます。

Bluetoothで音楽を聴く（つづき）

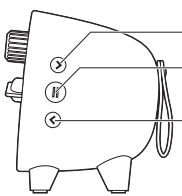
音楽を聴いているときのツマミ・ボタン操作



電源／音量ツマミ：音量を調節します。反時計まわりに「カチッ」と音がするまで回すと、本機の電源が切れます。

●音量の上げすぎにご注意ください。

●音量調節は本機とBluetooth機器のどちらでも可能ですが、本機側で過度に大きくした場合、他のファンクションに移行時、大音量を発することがありますので十分ご注意ください。



スキップボタン(>)：次の曲を再生します。

再生／一時停止ボタン：再生中に押すと一時停止します。
もう一度押すと再生を再開します。

スキップボタン(<)：曲の先頭に戻って再生します。
2回続けて押すと、1つ前の曲を再生します。

※接続しているBluetooth機器により、動作が異なる場合があります。

ヒントとご注意

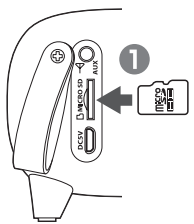
●携帯電話とのBluetooth接続で音楽を聴いているときに電話着信があると、再生音のスピーカー出力が中断します。携帯電話側で通話に出るなどの操作をしてください。その後、通話を切ると、再生音の出力に戻ります（接続している機器により、動作が異なる場合があります）。

microSDカード内のファイルを再生する

本機で使用できるmicroSDカードについて

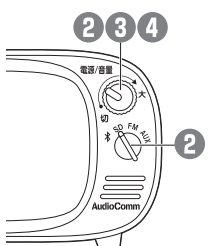
microSDカード	SDHC16GBまでのmicroSDカード（フォーマット：FAT32）
ファイル／フォルダー数	最大999ファイル/999フォルダー（5階層まで確認済み）
ファイル形式	MP3（再生ビットレート：8～320kbps）

ご注意
●microSDカード内に本機が対応していない形式のファイル（画像ファイル、テキストファイルなど）が混在していると、正しく認識されない場合があります。
●上記を満たす仕様及びファイル／フォルダー構成であっても、読み込めない、または再生できない場合があります。



1 **電源が切れている状態で、microSDカードを挿入します。**
●「カチッ」と音がするまで奥に差し込み、指を離してください。

2 **ファンクション切換ツマミを「SD」に合わせた後、電源／音量ツマミを時計まわりに回して電源を入れます。**
●「カチッ」と音がして電源が入り、「SDカードを再生します」の音声が流れて、インジケーター（白）が点灯します。
●しばらくすると読み込みが完了し、自動で再生が始まります。



3 **電源／音量ツマミを回して、音量を調節します。**
●音量の上げすぎにご注意ください。

4 **終了するときは、電源／音量ツマミを反時計まわりに「カチッ」と音がするまで回して電源を切ります。**
●電源が切れるとインジケーター（白）が消灯します。
●microSDカードを取り出すときは、事前に必ず本機を他のファンクションにするか、電源を切ってください。
●microSDカードはいったん指先で奥に押し込んだ後、指を離すと、先端が手前に出て引き抜けるようになります。

microSDカード内のファイルを再生する(つづき)

ファイル再生中のボタン操作

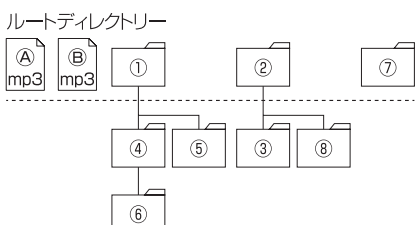
	押す	長押し
スキップボタン(>)	次のファイルを再生	次のフォルダーへ移動して再生
再生／一時停止ボタン	一時停止⇆再生再開	聴いているファイルを繰り返し再生
スキップボタン(<)	1つ前のファイルを再生	1つ前のフォルダーに移動して再生

●一時停止中はインジケーター(白)がゆっくり点滅します。
●再生／一時停止ボタンの長押しで聴いている曲の繰り返し再生が設定されると、インジケーター(白)が速い点滅に変わります。もう一度長押しすると解除され、インジケーターが通常の点灯に戻ります。

ヒント

●レジューム機能について
microSDカードから他のファンクションに移行した後、再び「SD」にファンクション切換ツマミを合わせると、前回の続きから再生が始まります(電源を切った場合や別のmicroSDカードを挿入した場合を除く)。

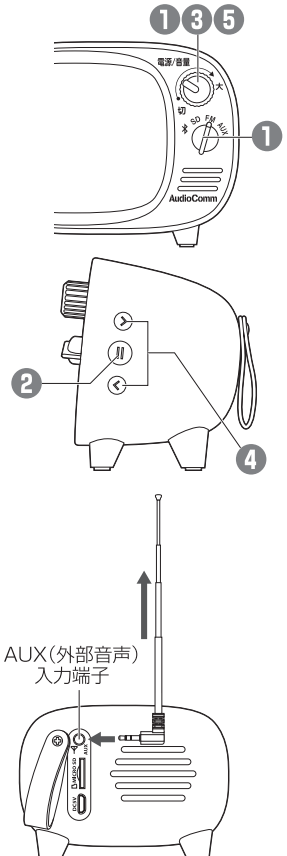
●ファイル・フォルダーの再生順について
・microSDカード内のルートディレクトリー(トップ階層)に音楽ファイルとフォルダーが混在する場合、本機は音楽ファイルを先に再生し、次にフォルダー内の音楽ファイルを再生します。
・ルートディレクトリーに複数のフォルダーがあるときは、それらのフォルダーがmicroSDカードにコピーされた順に再生します。その場合、最初にコピーされたフォルダー内の音楽ファイルをすべて再生した後、次のフォルダーに移って再生します。
・同一フォルダー内に複数の音楽ファイルがある場合はコピーされた順に再生します。
※諸条件により異なる場合があります。



Ⓐ～Ⓑ及び①～⑧はコピーされた順番を示します。上記の場合、再生順はⒶ→Ⓑ→①→④→⑥→⑤→②→③→⑧→⑦となります。

ラジオを聴く

本機のラジオはFM受信専用です。AMは受信できません。



1 **ファンクション切換ツマミを「FM」に合わせた後、電源／音量ツマミを時計まわりに回して電源を入れます。**
●「カチッ」と音がして電源が入り、「FMラジオ」の音声が流れて、インジケーター(白)が点灯します。さらに回すと音量が大きくなりますが、この時点では控えめにしてください。

2 **再生／一時停止ボタンを長押しして受信可能な放送局を自動登録します(最大30局まで)。**
●自動登録(サーチ)が始まるとスピーカーからの音が消え、受信可能な放送局が見つかると一時的に音声を出力しながら、順に登録していきます。サーチ中はインジケーター(白)がゆっくりと点滅します。
●サーチが完了すると、インジケーター(白)の点滅が点灯に変わり、いちばん最初に登録された放送局を受信します。

3 **電源／音量ツマミを回して、音量を調節します。**
●音量の上げすぎにご注意ください。

4 **お聴きになりたい放送局を選ぶときは、スキップボタン(>／<)を押します。**

5 **終了するときは、電源／音量ツマミを反時計まわりに「カチッ」と音がするまで回して電源を切ります。**
●電源が切れるとインジケーター(白)が消灯します。

より良くラジオを受信するには

付属の着脱式FMロッドアンテナをAUX(外部音声)入力端子に差し込むと、本機の受信能力を高めることができます。接続後アンテナを伸ばし、角度や方向を変えて、より良く受信できる向きに調節してください(実際の受信状況は使用環境により異なりますが、一般に窓際のほうがより良く受信できます)。

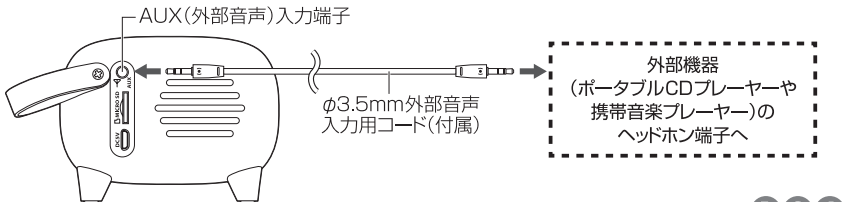
登録された放送局を削除するには

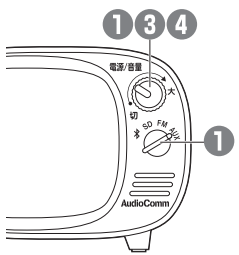
削除したい放送局を受信している状態でスキップボタン(>)を長押ししてください。

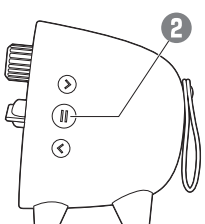
外部機器と有線接続して使う

接続のしかた

本機及び接続する機器の電源が切れた状態で、以下のように接続してください。
※AUX（外部音声）入力端子に着脱式FMロッドアンテナが差し込まれているときは取り外してください。







1 **ファンクション切換ツマミを「AUX」に合わせた後、電源／音量ツマミを時計まわりに回して電源を入れます。**
- 「カチッ」と音がして電源が入り、「音声入力」の音声が流れて、インジケーター（白）が点灯します。さらに回すと音量が大きくなりますが、この時点では控えめにしてください。

2 **外部機器の電源を入れて、再生などの操作をします。**
- 再生中に再生／一時停止ボタンを押すとスピーカーからの音が聞こえなくなります（消音）。もう一度押すと音が出ます。

3 **外部機器及び本機の電源／音量ツマミを使って、音量を調節します。**
- 音量の上げすぎにご注意ください。
- 音量調節は本機と外部機器のどちらでも可能ですが、本機側で過度に大きくした場合、他のファンクションに移行時、大音量を発することがありますので十分ご注意ください。

4 **終了するときは、電源／音量ツマミを反時計まわりに「カチッ」と音がするまで回して電源を切ります。**
- 電源が切れるとインジケーター（白）が消灯します。
- 接続を解除するときは、必ず事前に外部機器の電源も切ってください。

故障かなと思ったら

●電源・充電

症　状	チェック項目
電源が入らない	・十分に充電しましたか。
充電できない	・本機とパソコンまたはUSB充電AC電源アダプターが正しく接続されていますか。 ・付属品ではないUSB充電コードを使用していませんか。 ・USBハブなどを経由して接続していませんか。 ・パソコンが省電力モードやスリープモードになっていませんか。

●Bluetooth

症　状	チェック項目
ペアリングができない	・Bluetooth機器の電源は入っていますか。 ・Bluetooth機器は本機のプロファイルに対応していますか。 ・Bluetooth機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
Bluetooth接続ができない	・本機及びBluetooth機器の電源は入っていますか。 ・Bluetooth機器が他の機器と通信していませんか。 ・Bluetooth機器がスリープ状態になっていませんか。 ・Bluetooth機器内で本機の登録が削除されていませんか。
音が出ない	・ペアリングは行ないましたか。 ・本機またはBluetooth機器の音量が最小になっていませんか。
ノイズやエコー音がする	・Bluetooth機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。 ・無線通信を阻害する電磁波（電子レンジなど）や無線LAN環境の近くで使用していませんか。

●microSDカード

症　状	チェック項目
microSDカードを差し込めない	・差し込む向きは正しいですか。 ・別のmicroSDカードがすでに差し込まれていませんか。
再生が始まらない	・ファンクションが正しく選ばれていますか。 ・本機の規格に適合したmicroSDカードを使っていますか。 ・本機の規格に適合していないファイル形式のデータが含まれていませんか。 ・microSDカードのデータが破損していませんか。
音が出ない	・音量が最小になっていませんか。

故障かなと思ったら(つづき)

●ラジオ

症　状	チェック項目
音が出ない	・ファンクションが正しく選ばれていますか。 ・音量が最小になっていませんか。
雑音が入る	・近くで携帯電話を使用していませんか。 ・内蔵アンテナにて雑音がひどい場合は着脱式FMロッドアンテナをお使いください。

●AUX(外部音声)入力

症　状	チェック項目
音が出ない	・本機と外部機器が正しく接続されていますか(プラグがゆるんでいませんか)。 ・ファンクションが正しく選ばれていますか。 ・外部機器側で再生などの操作をしましたか。 ・外部機器側の音量設定が最小になっていませんか。

お手入れのしかた

表面の汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

主な仕様

●全般

電　　源	DC5V　500mA (USB給電：microUSB入力端子)
内蔵電池	充電式リチウムポリマー電池(3.7V 600mAh)
スピーカー	口径52mm　3W×1(4Ω)
接続端子	電源：microUSB
	AUX(外部音声)入力　※着脱式FMロッドアンテナ接続兼用：φ3.5mmステレオミニジャック
	microUSBカードスロット
充電時間	約2時間(残量ゼロからフル充電まで)
連続使用可能時間	Bluetooth：約4時間　　microSDカード：約5時間
	ラジオ：約3時間　　AUX(外部音声)入力：約6時間
許容動作温度	0～40℃
許容動作湿度	20～80%(結露なしにて)
外形寸法	幅105×高さ80×奥行72mm(突起物含まず)
質　　量	約195g
付属品	USB充電コード(microUSB-USB)、φ3.5mm外部音声入力用コード、
	着脱式FMロッドアンテナ、保証書付取扱説明書

●Bluetooth

通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.4.2
プロファイル	A2DP、AVRCP
出　　力	Class2
最大通信距離	見通し 約10m
使用周波数帯域	2.402GHz～2.480GHz

●microSDカード

対応メディア	SDHC16GBまで(別売)
ファイル形式	MP3形式(再生ビットレート：8～320kbps)
ファイル/フォルダー	最大999ファイル/999フォルダー(5階層まで確認済み)

●FMラジオ　※AMラジオの受信はできません

受信周波数	76～95MHz(0.1MHzステップ)
アンテナ	内蔵アンテナ、着脱式FMロッドアンテナ

※充電時間、連続使用可能時間、最大通信距離はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。
※連続使用可能時間は音量中程度の場合の目安です。
※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
※本書で使用している図版は実際の製品と一部異なる場合があります。
※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。
※本書に記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。